

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社いよぎんホールディングス（証券コード:5830）

### 【新規】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的

## 株式会社伊予銀行（証券コード:-）

### 【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的

### ■格付事由

- いよぎんホールディングス（いよぎんHD）は、伊予銀行を中核とする「いよぎんグループ」の金融持株会社。伊予銀行が単独株式移転方式により22年10月3日に設立した。いよぎんグループは、規制緩和を踏まえた事業領域の拡大やデジタル技術の活用、グループガバナンスの高度化を通じ、新たな価値を創造・提供し続ける企業グループを目指している。伊予銀行の格付は、地元を中心とした強固な事業基盤、良好な収益性、自己資本と潤沢な有価証券評価益からなるリスクバッファの厚みなどに支えられている。いよぎんHDは、伊予銀行の安定的な収益に裏付けられた良好なキャッシュフローを有している上、グループの財務運営方針からダブルレバレッジ比率は問題ない水準でコントロールされるとみており、発行体格付には持株会社の構造劣後性を反映していない。
- 伊予銀行は松山市に本店を置く資金量6.6兆円の地方銀行。瀬戸内圏域を中心に13都府県にまたがる広域店舗ネットワークを構築している。コア業務純益（投信解約益を除く）ベースのROAは22/3期0.4%強と他の有力地銀と比較しても良好である。23/3期は外貨調達コストの増加により、基礎的な収益には下方圧力がかかるとみられる。一方、コロナ関連融資一巡後も中小企業向けを中心に貸出金残高は増加しており、貸出金利息は堅調に推移する見込み。また、コンサルティング力の強化やビジネス領域の拡大に取り組んでおり、安定した役員取引等利益を確保できる見通し。こうした要素が利益の下支えとなり、コア業務純益は底堅く推移するとJCRはみている。
- 金融再生法開示債権比率は22年6月末1.64%と良好な水準を維持している。21/3期にはコロナ禍を踏まえた予防的引当を行い保全を強化している。貸出構成比の大きい外航海運業は、海運市況の回復や円安を受け業績は良好である。取引先は手元資金に厚みがあり、市況変化への耐久力のある先が多く、貸出資産の質に問題はない。こうした状況を踏まえ、当面の与信費用は低位で推移するとJCRはみている。有価証券運用では、外貨建債券のポジション調整やデュレーションの短期化を進めている。リスクと資本のバランスに留意した運営により、市場リスクは適切にコントロールされている。
- その他の包括利益累計額を控除した連結Tier1比率は22年6月末10%弱。株式を中心に多額の含み益を有していることも加味すると、貸出資産や有価証券にかかる実質的なリスク対比でみた資本の余裕度は大きい。

（担当）坂井 英和・青木 啓

## ■ 格付対象

発行体：株式会社いよぎんホールディングス

### 【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

発行体：株式会社伊予銀行

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2022年9月28日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩  
主任格付アナリスト：坂井 英和
- 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「銀行等」（2021年10月1日）、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」（2022年9月1日）として掲載している。
- 格付関係者：  
（発行体・債務者等） 株式会社いよぎんホールディングス  
株式会社伊予銀行
- 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■ 留意事項

本書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■ NRSRO 登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル